

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2017 No. 46

inaokigakuen news letter



特集1

一球に賭ける思いをつなぐ
～星稜中学校野球部 新旧キャプテンに聞く～

特集2

金沢星稜大学人文学部国際文化学科
留学を終えた学生達

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryō ～星稜の友～

総合研究所・地域連携センターだより

星稜 Pick up / 星稜 Information

挑戦 体験 感動
皆が大活躍!

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!

詳しくはP14をご覧ください

8月7日(月)から10日(木)まで、横浜スタジアムで開催された全日本少年軟式野球大会。星稜中学校野球部にとっては、昨夏そして今春に続いての「全国3連覇」への挑戦をかけた大会となりましたが、西京ビッグスターズ(京都府)に1-2で敗れ、惜しくも準優勝となりました。悔しさも、偉業に挑戦した誇りも、新チームへと受け継がれます。新旧キャプテンに、バトンタッチに込めた思いを聞きました。

—春の全国大会を振り返って、
どんな大会だったでしょうか？

内山●初めのころはチームとしてまとまっておらず、練習の成果が試合で出せないことも少なくありませんでした。監督やコーチから褒められることはなく、辛いことばかりだったので、キャプテンを卒業して今は少しほっとしています。でもそういう厳しい環境で歯を食いしばってやってきたことで、這い上がる力がついたらと実感しています。だからこそ、3連覇がかかった夏の大会でも、重圧に負けず決勝にまで勝ち上がったんだと思います。

—そんな先輩の姿を見てきた出村君は、
新キャプテンに就任して
どんな思いを持っていますか？

出村●伝統ある野球部のキャプテンを任されることに大きなプレッシャーを感じていますが、今の3年生と一緒に全国大会を経験したのは2年生の中では僕だけなので、その経験を活かすことが僕の役目だと思っています。

前キャプテン 内山 壮真



一球に賭ける思いをつなぐ

～星稜中学校野球部 新旧キャプテンに聞く～



新キャプテン 出村 夢太



内山●これは僕がキャプテンになった時に監督に言われたことですが、伝統的なチームカラーの上に、自分のカラーを出すことが大切だと思います。僕自身は、言葉で呼びかけるのではなく、プレーを通じてチームを率いてきたつもりです。

出村●僕も自分が率先して行動することでリーダーシップを発揮していきたいです。

星稜中学校野球部は、「人間性も野球も日本一を目指す」をスローガンにしているので、試合で結果を出すことだけでなく、普段の挨拶や、日課になっているゴミ拾いなど、当たり前のことからきちんとやっていきたいです。もちろん勉強にも全力を尽くします。

—前キャプテンから
新キャプテンに
伝えたいことは
ありますか？

内山●僕は1年生の時に、自分のエラーが原因で大切な試合に負けてしまいました。先輩からは「お前のせいじゃない」と言ってもらいましたが、僕の中ではその悔しい思いがずっと残り、逆に「やってやるぞ」という原動力になりました。出村君も、準優勝で終わった夏の大会で「一球の厳しさを実感したはずだ。悔しい体験をバネに、チームの気持ちをひとつにまとめていってほしいと思います。」

—最後に、出村君に
新チームでの目標をお聞きます。

出村●秋には新人戦があります。昨年は内山先輩が率いるチームで優勝しているので、新チームで先輩方が勝ち取った優勝旗を返しに行き、再び自分たちの力で持ち帰ってきます。

「侍ジャパンU-15」に

星稜中野球部から2名選出！

11月1日(水)から静岡県伊豆市で開催される「第9回BFAU-15アジア選手権」に出場する「侍ジャパンU-15」の代表選手に、星稜中学校野球部から2名が選ばれました。

投手・捕手という要のポジション。これまでの経験を活かし、国際大会という大舞台でも力を発揮してくれることでしょう。



荻原 吟哉(投手)

日本代表に選ばれて素直に嬉しいです。アジア選手権まであと2か月。自身の課題は、ストロークの精度、変化球の精度をより高めることです。メンバーが個々の能力を磨いた上で、チーム全体の力でアジア制覇を目指したいです。



内山 壮真(捕手)

8月に行われた一次合宿では、高いレベルの中でもものびのびと練習ができたと思います。国際大会は自分にとって人生初の経験となります。日本代表としての緊張感を持ちながらも、この貴重な機会からいろんなことを学びたいです。

提供：株式会社NPBエンタープライズ

本年、金沢星稜大学は創設50周年を迎えました。職員として47年にわたって本学をみてきた、稲置学園監査評価室田中洋之室長(元大学事務局長)にお話を伺いました。



耐用年数に至る前に取り壊され、現在は最新の設備を備えた校舎となりました。建物の老朽化による取り壊しではなく、学生数がどんどん増えていったための対応としての建て替えでした。この40数年でハード面は本当に大きく変わったと実感しております。また、平成14年には金沢経済大学から金沢星稜大学に大学名が変わりました。

私は星稜高校出身なのですが、高校時代は県外の大学への進学を考えており、当時、社会科の授業を受け持っていたいただいた山下先生(山下智茂 現学園顧問)のお話を聞き、先生の出身大学への進学を目指していました。しかし、高校3年時に家庭の事情により県外進学が困難となり、急遽、就職指導の先生に相談したところ、ちょうど稲置学園の職員募集があり、併せて金沢経済大学経済学部(夜間部)にも通えるので、進学を諦めることなく就職もできると紹介され、就職面接と入学試験のそれぞれをクリアし、昭和47年に本学園に就職すると共に、経済学部二部へ入学しました。

経理課へ配属され、建物の耐用年数が60年(現在は47年)だということを知りましたが、開学50年を迎えた現在では、当時あった建物はひとつも残っていません。どの棟も最後にありますが、私は初代理事長より「学園は地域の方々の協力があってこそ」と教わりました。地域の方々への感謝の気持ちを忘れてはならないという言葉は、今でも胸に焼きついていきます。

これからの金沢星稜大学は、初代理事長の教えにもとづき、地域と共に発展し、「誠実に社会に役立つ人間」を社会に送り出し続けていくことに期待したいと思っています。



特集

金沢星稜大学人文学部国際文化学科 留学を終えた学生達



2016年に開設した人文学部国際文化学科。1期生の全36名の学生たちは、今年8月までの間に海外の提携校での留学を終えました。

7月には第1回目の留学報告会が実施され、アイルランド、アメリカ、カナダ、ハンガリーで4～5か月の留学を終えた15名が、留学先の大学ごとのグループで英語でのプレゼンテーションを行いました。現地での学びの内容やホストファミリーとの生活、それぞれが感じた日本文化との違いなどを発表すると共に、先輩から学部2期生となる現1年次生へのアドバイスとして、充実した留学にするために必要なことや困難に直面した時の克服方法なども伝授しました。

第2回目の留学報告会は、10月14日（土）、金沢星稜大学創設50周年記念インターナショナルディ内のイベントとして実施され、オーストラリア、ニュージーランドへ留学した学生も含め、2年次全員が発表予定です。

留学中に会った様々な人々に刺激を受け、将来について深く考える機会を持った学生や、日本文化を学ぶ重要性を再認識した学生たち。今後、さらなる成長が期待されます。

人文学部国際文化学科1期生の留学先

アイルランド	11名（ダブリンシティ大学、リムリック大学）
アメリカ	3名（ハンボルト州立大学）
オーストラリア	10名（セントラルクイーンズランド大学、西オーストラリア大学）
カナダ	8名（ナイアガラカレッジ）
ニュージーランド	3名（オークランド大学）
ハンガリー	1名（コドラニ ユーノシュ大学）

留学期間は受け入れ先大学とそのコースにより、約4～8ヶ月。



国際文化学科2期生（本年4月入学者）の留学予定先

アイルランド	11名（コークカレッジ大学、ダブリンシティ大学、リムリック大学）
アメリカ	1名（ハンボルト州立大学）
オーストラリア	2名（セントラルクイーンズランド大学、西オーストラリア大学）
カナダ	8名（ナイアガラカレッジ）
台湾	1名（静宜大学）
チェコ	1名（トマス バタ大学）
ニュージーランド	2名（オークランド大学）
ハンガリー	1名（コドラニ ユーノシュ大学）
フィリピン	4名（エンデルンカレッジ、ピサヤ大学）
マレーシア	6名（アジアパシフィック大学）



星稜中学校

小松 豊 教諭

7年をカナダで過ごしてから 故郷の石川で教員に

私は3年前から星稜中学校の教諭となり、英語を担当しています。去年、今年は1年生の担任として生徒の指導にあたっています。

実は今までさまざまな経験をしており、「学校の先生になりたい」と考えたのは20代後半のころ。それまでずっと心理学を専門に学び、大学卒業後にカナダへ留学し、卒業後もスクールカウンセラーとして3年間務めたので、カナダには7年いたことになりました。スクールカウンセラーではうっただったり学習障害だったり、さまざまな問題を抱えていた子どもの世話にあたっていました。そうした中で、「故郷の石川県で、より子どもたちの近くにいられる教育現場で働きたい」と考えるようになり、帰国後、通信教育で教職免許を取得し、星稜中学校に採用されました。

星稜は、もともと兄と姉が高校に通っていたこともあり、近い存在でした。また二人を身近に見ていて、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」が実現していたと感じています。高校入学後から礼儀作法が目に見えてよくなり、「自分もそんな環境で働きたい」と考えて、星稜中学校の教諭試験を受けました。

今までの多彩な経験を生かした 一人一人と向き合う指導を。



勉強では基礎が一番大切と考え、基本を徹底した授業を心がけています

ネイティブ並みと 評価いただいた 英語力を生かした授業を

教師として働く中で一番大切にしているのは、「二人一人と向き合うこと」です。生徒一人一人が持つ個性を重視し、よいところを伸ばせるよう心がけています。これはカナダでスクールカウンセラーとして働いていたときに培ったもので、カウンセリングが必要な子どもは各々抱えている問題が違い、対処法もさまざまで、ただ判で押したような教育では対応できませんでした。この経験を生かしながら、生徒個人に合わせた指導ができるよう心がけています。

そして専門の英語の授業は、できるだけ実際に英語を使うようにしています。面はゆいですが「カナダ出身なの？」と聞いてくれる人もいます。発音はネイティブ並みと評価

いただいております。英語で話すことでより「生きた英語」が身につくと考えています。また、教科書に載っていないなくても英語圏では一般的な表現も積極的に紹介し、英語に興味を持ってもらえるようにしています。

さらにもう一つ、丁寧な言葉づかいをするよう気をつけています。担任をしている中学1年生は、まだまだ子どもらしさが残る年齢です。そんなうちから丁寧な言葉を使うことが当たり前になれば、一生役立つでしょう。ただお恥ずかしながら自分も十分できていないとは言い難く、生徒らとともに成長していきたいです。

遠い将来、自分の教え子たちが卒業してから、ふらっと中学に遊びに来てくれる、そして成人後には一緒にお酒を飲んでくれる、そんな風に生徒が慕ってくれる先生になるのが目標です。

自分がカナダに行ったときの写真も交えて紹介するなど、外国をより近くに感じられるようにしています



★ 207名の子どもたちと忍者修行

8月6日(日)、金沢市のいしかわ子ども交流センターで開催された「わくわく忍者ランド」に、本学「ジャンプチャレンジ企画」の新規企画「みーたす(みんな)で楽しくスポーツをする」が運営参画しました。普段よくする遊びに忍者の要素を加えた遊びでは、子どもたちが笑顔で一生懸命遊んでいました。子どもたちのスポーツに対する意識が少しでも良い方向に向くようにこれからも楽しい企画を実施します。



★ 森光佑矢選手、デフリンピックに出場して

7月23日(日)〜29日(土)、トルコのサムスンで行われた聴覚障害者の国際スポーツ大会「第23回デフリンピック夏季大会」において、陸上男子1500m、800m、4×400mRの日本代表として森光佑矢さんが出場しました。すべての種目において決勝に進出した森光さんは、思い通りの結果を出すことは出来なかったものの、ケニアやアメリカ等の強豪選手とともに走ったことで、ハイペースでのレース展開への臨み方を真剣に考え直す場となったと話してくれました。4年後のデフリンピックではより一層飛躍した森光さんを見られることでしょう。



★ 東北を笑顔に

ジャンプチャレンジ企画「STEP(Seiryō Tohoku Egaō Project)」がお盆休みに福島県の野蒜(のびる)市民センターへ行き、現地の子どもたちと「レインボーアート」を行いました。手や足、スポンジや筆など様々なものを使って、真っ白だったTシャツを虹色に染めました。活動中のこともたちの弾けた笑顔、活動後に保護者の方からいただいた「来年もまた参加したい」との言葉に「東北を笑顔にしたい」との思いを叶えることが出来ました。



★ トランポリン部が今年も世界へ飛び立ちました

第32回世界トランポリン競技選手権大会日本代表最終選考会男子個人戦決勝において172.275点で2位の成績を収めた堺亮介さん、2016年リオデジャネイロ五輪に日本代表選手として出場した中野蘭菜さん、2017年から本学トランポリン部の一員となり、これからの成長が期待される宮野冬馬さんが、ロシア合宿、ワールドカップ、世界選手権大会に出場するため日本から世界へ飛び立ちました。





チャリティー募金に参加

8月27日(日)、金沢市内とかほく市内のショッピングモールにおいて、約20名の学生が24時間テレビ街頭ボランティア活動に協力しました。募金してくださった方からの「頑張っつて」との掛け声がたみや慈善活動の大切さを深く学ぶことのできた一日となりました。



サッカー部、4年ぶりに総理大臣杯出場!!

9月1日(金)、大阪市のヤンマーフィールド長居で行われた第41回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント1回戦にサッカー部が出場しました。対戦相手は3年連続で総理大臣杯に出場しており、昨年のインカレでも対戦し惜しくも敗戦した因縁の相手である仙台大学。
4年ぶりに総理大臣杯に出場し因縁の相手と戦うサッカー部の勇姿を見届けようと、夏休み中であるにもかかわらず、19名の学生と4名の教職員が応援に駆けつけました。
選手たちの必死の頑張り、応援団の心からの声援もありましたが、全国大会初戦突破という壁を越えることはできませんでした。
しかし、「(金沢星稜大学は)1対1が強く2点目が遠かった」と仙台大学の監督が言うように、北信越王者の意地をみせることができた戦いとなりました。



着物を纏い「和」を体感

9月12日(火)・13日(水)、Sei-Tan Act!の中でも大人気企画である「きものde街巡り in 京都」を行い、学生29名が参加しました。「京都 夢館」で着付を行い、清水寺や伏見稲荷神社、嵐山を巡り、現地の方や外国人観光客と交流し、京都の歴史や女性としてのたしなみを学びました。



★ 熱き闘い！ 夏季体育大会

7月12日(水)、7月13日(木)の2日間、体育大会を行いました。1年生は12日(水)、2年生は13日(木)、そして最後の体育大会となる3年生は、2日間にわたっての開催でした。

大縄跳び、バレーボール、卓球、バドミントン、サッカー、バスケットボールなど、各競技で熱戦が繰り広げられました。クラス対抗ならでは、普段交流の少ないコース同士の親睦も深まりました。



★ 1年関東方面大学見学会 2年関西方面大学見学会

8月2日(水)～3日(木)にかけて1年生12名が関東方面へ、また8月9日(水)～10日(木)にかけて2年生77名が関西方面の大学見学会にそれぞれ行きました。1年生は各大学でオープンキャンパスに参加し、活気ある大学の様子に触れました。

また、別の大学では星稜高校生のための特別なキャンパスツアーや模擬授業を企画していただき、少しだけ大学生気分を味わうことができました。2年生は京都大学のキャンパスツアーや、模擬裁判に参加し、京大生から説明を受けながら、貴重な体験をしました。

さらに、大阪大学では文理別に模擬授業を受け、神戸大学では大学説明会に参加しました。1・2年生とも、本校卒業生との交流会もあり、大学受験や今後の学習に向けての目的意識をより明確にできた見学会になりました。



★ 1・2年Pコース 課外実習

8月28日(月)・29日(火)、1年Pコース74名が白山登山、2年Pコース67名が岐阜県長良川へ課外実習に行きました。

1年生の白山登山は、好天に恵まれ気持ちの良いトレッキングができ、普段見ることのない緑いっぱいのなか、頂上までたどり着くことができました。残念ながらご来光を見ることはできませんでしたが、みなで登った山頂からの雄大な景色に感動し、疲れも吹き飛びました。

2年生は、8人乗りゴムボートでラフティングと呼ばれる急流下りや、小滝の岩肌を登り、滝つぼへジャンプするシャワークライミングなどを体験しました。初体験ということもあり最初は不安そうな表情をしていましたが、いざ始めると生徒からは歓声が上ががり、思いっきり楽しむことができました。

どちらの実習もそれぞれ、力を合わせお互いの絆を深めるよい機会となりました。



★ 高部活動体験！

8月26日(土)、中学3年生を対象に野球部、サッカー部、男女剣道部、女子バレーボール部などの各部活動の体験会を実施しました。爽やかな青空の広がるなか、県内はもとより県外からの希望者もあわせて170名を超える中学生が参加し、活気ある体験会となりました。朝早くから今か今かと待っている姿から、星稜の部活動への強い思いもうかがえました。

本校概要などの説明の後、高校生との合同練習を行いました。最初は動きの硬かった中学生たちも、熱心に指導する顧問や高校生部員のアドバイスで、次第に熱のこもったまなざしで若々しく躍動する姿が見られるようになりました。学校見学会とは一味違った星稜高校に出会えた体験会でした。



★ 高海外語学研修

7月30日(日)～8月10日(木)にかけて、2年生25名がオーストラリアのクイーンズランド州、ブリスベンにて語学研修を行いました。

現地の語学学校に通い、世界各国から集った学生と共に授業を受けたり、コアラやカンガルーといったオーストラリア固有の動物と触れ合ったりと、とても貴重な体験をすることができました。また、様々なルーツを持つ人々と交流することで、異文化を体験し、国際感覚を養う良い機会となりました。



★ 高 エンパワーメント プログラム

7月31日(月)～8月4日(金)の5日間にわたり、1年Aコースの生徒が、大勢の講師・世界の有名大学大学院の外国人学生」の指導のもと、日常的なコミュニケーションから始まり、グループでのディスカッション、最終プレゼンテーションまでを全て英語で行う「エンパワメントプログラム」に参加しました。留学生や講師がそれぞれ5～6名の生徒のグループに入り、ディスカッションを行いました。



★ 幼稚園訪問！

8月28日(月)・29日(火)、中学2年生が家庭科の授業の一環として、星稜幼稚園を訪問をしました。最初はどのように園児に接してよいかわからず、とまどい遠巻きにいましたが、徐々に硬さもほぐれおにいさん、おねえさんらしい表情で交流ができるようになりました。

「遊び一つでも頭を使って工夫している様子が見られた」、「簡単な漢字が読めたり、難しい言葉を使ったりする子もいた」など園児の様子をしっかりと観察することもでき、楽しく充実した幼稚園訪問となりました。



★ 高 星稜祭

9月7日(木)・8日(金)の2日間、第56回星稜祭が開催されました。今年のテーマは「星瞬」～終わりになき可能性～です。

吹奏楽部によるオープニングコンサートにはじまり、1日目は「BISH」による星稜祭スペシャルライブが行われ、会場の稲置講堂は小道具が壊れるほど大変盛り上がりしました。1日目はあいにくの雨模様でしたが、2日目はみんなの祈りが届いたのか、爽やかな晴天のなか充実した日となりました。各クラス趣向を凝らしたTシャツも青空に映え、いきいきとした生徒の表情があらわこちらで見られました。人生のほんの一瞬の出来事でも、星稜生みんなの青春にとって忘れることのない瞬間として記憶されたことでしょう。



★ 中 シェイクアウト！ 防災訓練実施！！

7月10日(月)の11時、大地震が発生したという想定で、県民が一斉に安全行動をとれるようになるために行う県民一斉防災訓練「シェイクアウト石川」に今年も参加しました。本校では8時38分という想定時刻で実施し、朝の放送後「しゃがむ」「隠れる」「じつとする」の安全行動を生徒に取らせ、日頃から地震に備えるよう意識付けを行いました。この安全行動を徹底して、地震などの災害に備える意識を日頃から持ち合わせていきたいものです。



★ 中 歌に夢をのせて合唱コンクール開催！

7月12日(木)、稲置講堂において第17回星稜中学校合唱コンクールが行われました。各クラス、課題曲の「想い出がいつばい」と自分たちで選曲した自由曲の2曲ずつを歌い、これまでの練習の成果を披露しました。どのクラスもみんなの心が一つとなった素敵なハーモニーでした。金賞は、さすが3年生というまともな見せた3Aが受賞しました。

金賞 3年A組 366日
[All for song, win for all]
銀賞 3年B組 空もとべるはず
「歌美」つる3Bの天下一品の歌を召し上げれ
銅賞 2年B組 明日はきっといい日になる
[We can do it] 愉しみと飲みに、唄う
2年A組 みんながみんな英雄
「2Aからの下剋上」32人みんなが英雄」
1年B組 3月9日
「いつも以上に明るく楽しく歌おう」
1年A組 ちっぽけな勇氣
[Chorus Soul]

※「1」内はスローガンです。



★ 幽玄の世界 観能教室

7月7日(金)、石川県立能楽堂で行われた第69回観能教室に3年生71名が参加しました。舞囃子「羽衣」、能「八島」、狂言「附子」を鑑賞した後、金沢能楽美術館へ移動し、能の歴史や能舞台についてのお話を聞いたり、能面体験をさせていただいたりしました。「空から謡がふつてくる」とまで言われ、金沢で発展をとげた、伝統芸能への理解と関心を深めました。



★ 国際交流若者 シンポジウム

8月27日(日)、金沢市文化ホールにおいて、金沢市イルクーツ市姉妹都市提携50周年記念事業「国際交流若者シンポジウム」が行われ、3年生の小松睦実さんが発表者として参加しました。小松さんは今夏、金沢市中学生親善団の一員としてイルクーツ市を訪れ、そこで学んだ日本とロシアの文化の違いなどについての考察を自らの視点で発表しました。



★ 中高 6月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

第99回全国高等学校野球選手権石川大会
・第3位

第101回日本陸上競技選手権大会
・女子走幅跳 ・第7位 吉岡 美玲

平成29年度全国高等学校総合体育大会
陸上競技

・女子走幅跳 ・第2位 吉岡 美玲
・女子三段跳 ・第11位 宮口 愛子

第42回全国高等学校トランポリン競技選手権大会

・男子個人 ・第3位 新谷 亮介
・男子個人 ・第5位 伊藤 祐規
・女子個人 ・第2位 杉谷 櫻花
・女子個人 ・第4位 谷口 空
・シンクロナイズ競技女子 ・第4位 谷口、杉谷
・女子 ・最高難度点賞 杉谷 櫻花
・男子団体 ・優勝 伊藤、和田、新谷

第56回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会

・女子800m ・第1位 澤井 柚葉
・女子走幅跳 ・第1位 吉岡 美玲
・女子三段跳 ・第2位 宮口 愛子
・女子フィールド ・第2位
・女子総合 ・第3位

平成29年度北信越高等学校体育大会

剣道競技
・男子団体 ・第3位

サッカー競技
・優勝

レスリング競技

・55kg級 ・第3位 中村 晟笙

ソフトボール競技

・男子 ・第3位

第44回石川県トランポリン競技選手権大会

・男子個人 ・第2位 新谷 亮介
・女子個人 ・第1位 杉谷 櫻花
・女子個人 ・第3位 谷口 空

平成29年度石川県高等学校新人体育大会

水泳競技

・男子100m自由形 ・第3位 朝比奈 睦寛
・男子100mバタフライ ・第2位 坂本 怜央
・男子200m個人ドレー ・第1位 朝比奈 睦寛
・男子400mドレー ・第3位 朝比奈、坂本、山田、寺林
・女子200m個人ドレー ・第3位 室谷 愛侑
・女子400m自由形 ・第3位 尾方 彩

第16回ジュニアゴルフ選手権

・男子15歳～17歳の部 ・優勝 辻 圭一郎

第61回北陸陸上競技選手権大会

・女子800m ・第3位 中川 瑞稀
・女子1500m ・第2位 中川 瑞稀
・女子棒高跳 ・第1位 藤家 麻鈴

第41回全国高等学校総合文化祭

・将棋部門 女子個人 ・第16位 河内 瑠美

第37回石川県高等学校総合文化祭

・第69回石川県高校演劇合同発表会 ・創作脚本賞・観客動員奨励賞

第30回全国高等学校将棋竜王戦石川県大会

・B級 ・第3位 井上 耀太郎

第59回石川県合唱コンクール

・高等学校部門Aグループ ・銀賞

第84回NHK全国学校音楽コンクール石川県コンクール

・銅賞 合唱部

第25回石川県高等学校声楽コンクール

・優秀賞 鶴岡 夢里
・優秀賞 伊藤 義弥子

第24回石川県競技かるた選手権大会

・D級 ・優勝 矢鋪 桜子

第65回石川県吹奏楽コンクール

・高等学校A部門 ・銀賞

【星稜中学校】

第34回全日本少年軟式野球大会

・準優勝

第34回全日本少年軟式野球大会北信越ブロック予選会

・優勝

第34回全日本少年軟式野球大会石川県予選

・優勝

平成29年度全国中学校ゴルフ選手権大会

・文部科学大臣旗争奪第25回男子団体の部 ・第6位

第2回中部中学校ゴルフ対抗戦兼全国中学校ゴルフ選手権団体の部中部地区予選

・男子団体の部 ・優勝 安田、曾山、灰谷、南保
・男子個人の部 ・優勝 灰谷 幸家

第63回全日本中学校通信陸上競技大会石川県大会

・女子共通100mH ・第3位 又多 風緑
・女子共通100m ・第2位 又多 紅樹
・女子共通1500m ・第2位 荒木 瑞帆
・女子共通200m ・第3位 又多 紅樹

第38回北信越中学校総合競技大会

陸上競技

・女子100mH ・第3位 又多 紅樹

サッカー競技

・優勝

第60回金沢市民体育大会

陸上競技

・中学女子2年100m ・第1位 又多 紅樹
・中学女子3年100m ・第3位 又多 風緑
・中学女子3年800m ・第1位 荒木 瑞帆
・中学女子1,2年走幅跳 ・第1位 又多 紅樹
・中学女子4×100mR ・第1位 吉本、又多風、又多紅、宇都宮

石川県中学校体育大会

第69回陸上競技大会

・女子1,2年走幅跳 ・第1位 又多 紅樹
・女子共通100mH ・第2位 又多 紅樹
・女子共通100mH ・第3位 又多 風緑

第55回石川県中学校サッカー大会

・第1位

第67回体操競技大会

・男子鉄棒 ・第2位 友部 宇汰

第35回石川県中学校選抜混成競技大会

第26回石川県中学校競歩大会

・女子共通四種競技 ・第1位 又多 紅樹

金沢市早朝野球協会会長旗争奪第18回金沢市中学校野球大会

・優勝

第16回ジュニアゴルフ選手権

・男子12歳～14歳の部 ・第3位 灰谷 幸家



☆ボードゲーム☆

保護者の方に幼稚園のお遊びを体験していただく試みとして、大人ボードゲーム体験会を行いました。普段子どもたちが遊んでいるゲームから大人向きのものまで、たくさんさんのゲームを体験しました。記憶力を駆使するもの、駆け引きを楽しむもの、速さを競うものやみんなで協力するものもありました。

童心にかえって、時には大人の頭脳で時間いっぱい楽しさを味わっていたようです。

初対面の方がほとんどでしたが、笑顔がこぼれる和やかな雰囲気になっていました。



☆給食室から☆

多彩な献立で提供している毎日の給食は、旬の食材や行事食で季節を感じるなど、おいしさに加え子どもたちが食文化に関心をよせながら、食事が楽しい時間であるように工夫されています。



す。エンドウ豆のすじとりや金時草の葉をちぎることも経験し、畑で収穫した野菜が食卓に登場することも格別です。夏には長い野菜のスイキとの背比べや、金時草のゆで汁にクエン酸を混ぜ、色に変化する様子を見るなどのおたのしみ企画がありました。治部煮や金沢おでん、ハン돈ライスなど、金沢ならではの味も楽しんでいます。



☆ナースリールーム☆

わかば組(1歳児)では、かわいいおしゃべりがいっぱいになってきました。幼稚園に慣れ、保育教諭や友だちと遊ぶ姿はいきいきとしています。夏は水の感触を十分に楽しみ、元気に遊びました。

幼稚園で1番小さなふたば組(0歳児)は、おすわり、はいはい、つかまり立ち、そしてよちよち歩きと日々成長を見せてくれます。小さくてもちゃんと自分



の意志をもって幼稚園生活を送っているナースリールームの子どもたちです。



☆夏まつり☆

7月に星陵幼稚園の夏祭りが開催されました。園庭では的あてやヨーヨー釣り、さいころゲームなどを楽しみました。家族や友だちと一緒に食べたおにぎり、やきそば、クレープはおいしかったでしょうね。食育戦隊スギヨ飯面とはクイズと記念撮影をしました。小さな動物の観察や触れ合い、陸ガメのえさやり体験など貴重な体験ができた移動動物園、中でもハリスホークの颯爽としたフライトは圧巻でした。



☆積み木ショー☆

日本を代表するおもちゃデザイナー相沢康夫さんが来園しました。間近で見る美しい積み木を使ったパフォーマンスは奇想天外で、一同が喜びと驚きに包まれました。面白かったこの体験が今後の新しいアイデアやひらめきの種になってくれたら嬉しく思います。



☆職員講習会☆

全職員が参加し、心肺蘇生、AED、軌道異物除去の講習会を行いました。手順や注意事項の講習を受け、真剣に実践に取り組みました。



幼稚園
★夏まつり★

7月15日(土) 幼稚園の園庭にて行われた恒例の夏まつり。お家の方と一緒に嬉しそうにお店をまわり楽しむ姿、またお友だちとおどる盆踊りではいい笑顔がみられました。今回の夏まつりでは年長組がお店を出すことになり、みんながイメージしているおまつりはどんなものなのか、「やってみたい！お店」「こんなお店があったらいいな」と子どもたちの話し合いから活動が始まりました。くじびき、釣りのお店、かざり屋さん、風船のせかい…出店する準備の中で友だちと考えを出す姿、思いをかたちにする、出来上がっていく過程で出店への期待がどんどんふくらんでいきました。当日は多くのお客さ



んに楽しんでもらおうと、丁寧に対応する姿が印象的でした。また神様を拝めるお神輿も登場し、おまつりを一層盛り上げてくれました。夏まつりを通して、友だちとの協働性(お互いの思いを共有し、共通の目的の実現に向けて考え、工夫し、協力し合い、充実感を持ってやりとげる力)が育っていくことを実感できました。また今年年長組が太鼓を打つ姿を少しばかりお披露目しました。9月から講師になった嶋先生と共に、さらにリズムに親しみ、和の響きを楽しんでいます。覚えたりズムを「せーの!」と息を合わせて友だちと打つ姿は頼もしく見えます。

★第33回 同窓会★

昨年より夏に行われるようになった卒園児の同窓会。表情がきりりとなった小学1年生からグンと立派になった6年生まで県内外から総勢111名が集まりました。玄関では例年のごとく保育者と子どもの「あー!!」と手をあげ、再会を懐かしむ声!こえ!そして満面の笑顔!本当にいい瞬間です。大きくなった体には教室のいすも机も小さい。そんな中で無邪気にゲームを楽しむ顔、職員とちよつと敬語交じりのおしゃべりに花を咲かせる姿。この大切な行事を今後も大事にしていきたいものです。



★年長組 おとまり保育★

おとまりってステキ!の気持ちでがルンルンになる歌からはじまったおとまり保育。「1人だと心細くなるよね!、でもみんな一緒だと大丈夫じゃない?」お友だちと一緒に過ごす中で共に関心が高くなる、そして今後これを糧に成長していけるようなおとまり保育を、と2日間を過ごしました。1番の印象は園長先生扮するなぞの人に会いに行ったあの時間かな?



★子どもがイキイキするためには?★

星稜泉野幼稚園が目標にしている教育・保育は、子どもが安心して落ち着いて過ごし、自ら行動し、主体的に遊ぶこと。その中でよく考え、言葉を使って話し、知識や術を身につけていく。それに加え、今回改訂となる幼稚園教育要領につ

いても金沢星稜大学教授の福井先生にアドバイスを頂き、当園の教育並びに保育に必要なことを明確にし、それらを踏まえて園でどういう生活の場を用意すると良いのか、職員が学ぶ場を設けています。先日は沖縄県の読売村教育委員会委員の大澤由美子氏をお招きし、幼児教育の中で不易なことは何か、それを実践ではどう活かしていくのかを教わりました。今後、福井先生、大澤先生と共に実践研究に取り組んでいく予定です。日ごろの子ども



★理事長先生と次の一手★

理事長先生が来園し年長児と将棋を囲み、頭をひねり考え中…。考えているところには自然と人が寄ってきて輪ができていきます。自分より強い相手と勝負をする時間は子どもにとって真剣勝負!一戦交えた後の充実感を十分に感じていました。理事長先生からの一言「まだまだ弱いなあ。」



★遊び場の充実★

この度園庭が新たに生まれ変わります。安らぎゾーン・わんぱくゾーン・育てるゾーン・水遊びゾーンの4つのエリアで構成された安全で楽しい園庭となります。

北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



コンサルティング部コンサルティング課
ICT推進チーム 推進役
吉村 紀一郎
(星稜高等学校 第24期卒)

星稜高校時代に抱いた思いを胸に 地域の皆様のICT推進をお手伝い。

昭和63年に星稜高校を卒業し、大学を経て北國銀行に入行し24年になります。金沢市内の営業店への配属に始まり、理系出身ということもありIT部門を中心に、以降はずっと本部勤務です。その間、総合企画部（システム企画）、国際部、営業統括部などを経て、本年より新設のコンサルティング部にて、ICT推進を担当しております。

今の時代は、私が高校時代に想像していた未来像を遥かに超える急速なスピードでICT化が進んでおり、皆様も知らないうちに日常生活から社会インフラ、経営全般において、その恩恵を受けていることに気づかれています。

とはいえ、地元で活躍される皆様におかれましては、ICTの言葉は聞くけれど

もどのように利用すれば？本当に効果があるのか？ちゃんと継続利用しているのか？といった不安があるのが現状だと思います。

そのような状況において、人口減少も余儀なく進む中、これからの地域金融機関は「何をすべきなのか」と考えたときに、「先ず『隅より始めよ』のもと、自らICT活用による生産性向上の運動を行いました。そして、そのノウハウと経験を活かした客観的な目線でのお客さまサポートからスタートし、今ではかなりのご支援をさせていただいております。

私がいつもお客さまとの面談でお伝えしていることは、ICTは決して魔法の杖ではないということです。目的を明確にし、運用ルールを確立して、社員全員が自ら積極的に継続利用している体制づくりをお話しています。

今振り返って考えると、この仕事の原点は星稜高校時代のことです。「世の中が元気になることへのお手伝いを仕事にしたい」と思い、大学では経営工学を専攻し、勉学に励みました。

安倍内閣の「働き方改革」は、仕事も含めて心の豊かさを実現するような、人々の幸せづくりのための、「生き方改革」に向けての手段であると考えなければならぬと思います。

稲置学園の建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を持てば、必ず道は開けます。地元を愛し、人々との出会いを大切にしながら、明るく前向きに過ごしていきます。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。

地域のみなさんと、未来をひらいていく。

ふるさとに暮らす人々が、

今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。

北國銀行は、これまでこれからも

地域とともに歩む銀行であり続けます。

総合研究所・ 地域連携センター だより



〈活動中の主な事業〉

廃校施設の有効利用

地域課題研究ゼミナール支援事業
(大学コンソーシアム石川地域連携事業)

川澄厚志 経済学部 講師

この事業は、地域から提示されたテーマに対して県内の大学等のゼミナールが、その専門性を活かし、地域の団体との意見交換を通じて学生の実践的な問題解決能力を養うとともに、地域と大学の交流の拡大を図るものです。川澄ゼミでは、廃校となった石川県羽咋郡志賀町の「西海小学校」の旧校舎を有効に利用する活動を行っています。志賀町女性団体協議会と連携したイベント「廃校であそぼう」を9月16日(土)に開催しました。意見交換を重ねながら、地元の方を講師に迎えての「さくら貝工房」「郷土料理教室」「竹釣り」「ブドウ狩り」等の体験コースの実施や、西海地区伝統の「又次節(またじぶし)おどり」、キャンプファイヤーで交流を深めました。



地域連携センター

さまざまな研究、実践活動を通して
地域とのつながりを強めるとともに、
学生の課題解決能力の向上を目指します。

能登体験型インターンシップ

金沢いしかわフィールドワーク支援事業

西村貴之 人間科学部 講師

この事業は、大学が地域との連携による教育交流、情報発信、調査研究を行い、教育研究の充実・発展並びに地域の文化・産業の発展を図るものです。西村講師は、学生とともに能登・七尾市大吞地区に5日間に滞在し、小集落での暮らし体験や地域の方々との交流を通じて、地域の調査を行いました。発見した魅力を地域内外に向けて発信し、同地区の魅力向上と活性化を図っていきます。



能登・祭りの環インターンシップ

能登キャンパス構想推進協議会委託事業

池田幸應 人間科学部 教授

この事業は、能登を舞台とした学生と地域の交流や地域貢献活動を通じて、地域との連携を一層推進するとともに能登の活性化を図るものです。「能登・祭りの環」インターンシップは穴水町「沖波大漁祭り」をメインテーマに、本学の学生をはじめ石川県内5大学の総勢45名の学生が参加しました。祭りの準備作業のほかアンケート調査や、地域が学生を受け入れるためのマニュアルの作成・地域外の人とのマッチングシステムの検討など、約1か月間を使って取り組みました。担当大学の池田教授、委員の小西賢吾教授、教育経済学部のほか、新広昭経済学部教授、小磯千尋人文学部准教授が指導にあたりました。



星稜中学校イベントを短大生・大学生がサポート

9月26日(火)から28日(木)、中学1年生がオールイングリッシュで3日間を過ごす「イングリッシュキャンプ」が行われました。

1日目は、短大部辰島ゼミの学生が、生徒の活動を記録する撮影隊としてサポート。撮影しながら生徒と英語でコミュニケーションを取りました。



2日目は、大学人文学部国際文化学科で海外留学を終えた2名の学生がサポート。中学生からの英語での質問に英語で答えるなど、留学先のホームステイで中学生年代の子供たちと触れあった経験が活かしました。

双方にとって有意義な連携事業となりました。

星 稜 INFORMATION

稲置学園星稜基金 スポーツ・文化等課外活動支援の給付者

平成29年4月～9月までの給付者

所属	個人・団体	区分	クラブ名	氏名
中学	スポーツ	団体	野球部	
中学	スポーツ	団体	ゴルフ部(男子)	
中学	スポーツ	団体	サッカー部	
中学	スポーツ	個人	ゴルフ部	曾山 正太郎
中学	スポーツ	個人	ゴルフ部	灰谷 幸家
中学	スポーツ	個人	陸上競技部	又多 紅樹
中学	スポーツ	個人	野球部	内山 壮真
中学	スポーツ	個人	野球部	荻原 吟哉
高校	スポーツ	団体	サッカー部	
高校	スポーツ	団体	陸上競技部(女子)	
高校	スポーツ	団体	ソフトボール部	
高校	スポーツ	個人	陸上競技部	町 亮汰
高校	スポーツ	個人	陸上競技部	塩本 歩
高校	スポーツ	個人	陸上競技部	澤井 柚葉
高校	スポーツ	個人	陸上競技部	宮口 愛子
高校	スポーツ	個人	陸上競技部	古岡 美玲
高校	スポーツ	個人	空手道部	小山 麗

所属	個人・団体	区分	クラブ名	氏名
高校	スポーツ	個人	男子弓道部	浜中 悠希
高校	スポーツ	個人	レスリング部	中本 裕斗
高校	スポーツ	個人	レスリング部	中村 晟笙
高校	スポーツ	個人	体操部	川崎 晃
高校	文化	個人	将棋部	松岡 萌優里
高校	文化	個人	将棋部	河内 瑠美
高校	スポーツ	個人	トランポリン部	新谷 亮介
高校	スポーツ	個人	トランポリン部	伊藤 祐規
高校	スポーツ	個人	トランポリン部	和田 岳大
高校	スポーツ	個人	トランポリン部	杉谷 櫻花
高校	スポーツ	個人	トランポリン部	谷口 空
大学	スポーツ	団体	サッカー部	
大学	スポーツ	団体	陸上競技部(男子)	
大学	スポーツ	個人	陸上競技部	森光 佑矢
大学	スポーツ	個人	陸上競技部	清水 奨太
大学	スポーツ	個人	陸上競技部	大田 和宏
大学	スポーツ	個人	陸上競技部	大坪 超志

所属	個人・団体	区分	クラブ名	氏名
大学	スポーツ	個人	陸上競技部	大澤 啓太
大学	スポーツ	個人	陸上競技部	岡本 健
大学	スポーツ	個人	陸上競技部	武部 真央
大学	スポーツ	個人	陸上競技部	岩田 栞
大学	スポーツ	個人	陸上競技部	土田 和
大学	スポーツ	個人	陸上競技部	藤本 瑠奈
大学	スポーツ	個人	トランポリン部	中野 蘭菜
大学	スポーツ	個人	トランポリン部	堺 亮介
大学	スポーツ	個人	空手道部	伊田 靖隆
大学	スポーツ	個人	空手道部	大江田 智代
大学	スポーツ	個人	空手道部	谷 沙也歌
大学	スポーツ	個人	剣道部	森田 紗世
大学	スポーツ	個人	硬式テニス部	南 美彩季
大学	スポーツ	個人	硬式テニス部	堀 綾香
大学	スポーツ	個人	硬式テニス部	平田 奈菜
大学	スポーツ	個人	硬式テニス部	中川 愛菜



星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い

締切 11/30

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読頂き、誠にありがとうございます。
毎号の内容に関する皆様からのご意見を「Webアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、抽選で20名様にQUOカード(500円分)をプレゼントいたします。
右記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で20名様に
QUOカードをプレゼント!

行事スケジュール (10月～12月)

金沢星稜大学

10	5日(木)	通常講義日(創立記念日)
	7日(土)	大学創設50周年記念事業(経済学部)
	9日(月・祝)	通常講義日(体育の日)
	14日(土)	補講日、インターナショナルディ(人文学部)
	21日(土)	大学創設50周年記念事業(人間科学部)
	28日(土)	補講日、大学創設50周年記念事業(人文学部)
11	2日(木)～5日(日)	流星祭
	3日(金・祝)	大学創設50周年記念 全体式典
	7日(火)	休業日(10/9授業分)
	18日(土)	補講日
	25日(土)	オープンキャンパス(一般入試対策講座)
12	2日(土)・16日(土)	補講日
	19日(火)	卒業研究発表会(経済学部) フィールド成果報告会(人間科学部)
	26日(火)～1月8日(月・祝)	年末年始休業日

金沢星稜大学女子短期大学部

10	5日(木)	通常講義日(創立記念日)
	7日(土)	大学創設50周年記念事業(経済学部)
	9日(月・祝)	通常講義日(体育の日)
	14日(土)	補講日、インターナショナルディ(人文学部)
	21日(土)	大学創設50周年記念事業(人間科学部)
	28日(土)	補講日、大学創設50周年記念事業(人文学部)
11	2日(木)～5日(日)	流星祭
	3日(金・祝)	大学創設50周年記念 全体式典
	7日(火)	休業日(10/9授業分)
	18日(土)	補講日
	25日(土)	オープンキャンパス(一般入試対策講座)
12	2日(土)・16日(土)	補講日
	19日(火)	卒業研究発表会(経済学部) フィールド成果報告会(人間科学部)
	26日(火)～1月8日(月・祝)	年末年始休業日

星稜高等学校

10	5日(木)	創立記念日
	6日(金)・7日(土)	中間試験
	10日(火)・11日(水)	追試
	12日(木)	追試
	14日(土)	ヒストリカルツアー
	16日(月)	進路研究(1・2年、3年P)
11	1日(水)・2日(木)	教育ウィーク(学校・授業公開)
	6日(月)・7日(火)	1年期末試験
12	4日(月)～8日(金)	2・3年期末試験、1年修学旅行
	11日(月)	追試
	15日(金)～16日(土)	1・2年体育大会
	16日(土)	3年保護者懇談会
	18日(月)	再試
	18日(月)～19日(火)	保護者懇談会
	20日(水)	終業式・全国大会出場激励会、保護者懇談会(3年)
	21日(木)・22日(金)	補充・補習授業
	25日(月)～27日(水)	補充・補習授業

星稜中学校

10	5日(木)	創立記念日
	11日(水)	運動会
	12日(木)	運動会予備日
	13日(金)	ナイト学校説明会
	19日(木)・20日(金)	中間試験
	24日(火)	3年補充開始(～1/20)
11	1日(水)・2日(木)	教育ウィーク(学校・授業公開)
	6日(月)・7日(火)	教育ウィーク(学校・授業公開)
	19日(日)	学校見学会・部活動体験・おもしろ科学実験教室
12	2日(土)	学校説明会
	4日(月)～6日(水)	期末試験
	7日(木)	体育大会
	16日(土)	講演会
	22日(金)	終業式
	25日(月)	学校説明会

※スケジュールは変更となる場合があります。

あとがき

青空にいわし雲、日中でも開いた窓から聞こえてくる虫の声と爽やかにただよう金木犀の香り。季節は確実に秋へと移り変わろうとしています。と同時に、生徒、学生にとっては正念場に向けてギアチェンジを求められる時期でもあります。とはいえ、学園祭や運動会など行事も目白押しです。散歩や旅もしやすい季節です。ほんの少しの回り道は許されるでしょう。もしかしたら、人生の指針となる新たな出会いが待っているかもしれません。

今という時間を大切に、様々な事やものに枝葉を伸ばしながら、この先歩き続けていく道を強く太いものにし、確かな足跡を残していけるよう悔いのない青春を送ってもらいたいものです。また微力ながらお手伝いできたいと思います。

星稜中学高等学校 事務室 林腰 理香

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1
TEL 076-253-3924(代表)
(大 学) <http://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短大部) <http://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryu-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

10	2日(月)	キッズサッカー
	3日(火)	年長芋ほり遠足
	4日(水)	歯科検査
	5日(木)	創立記念日
	10日(火)	年中遠足
	11日(水)	小児科健診・玉川こども図書館出張保育
	12日(木)	年少遠足
	16日(月)	キッズサッカー
	17日(火)	ABCランド(つき参観)
	18日(水)	星稜子育てステーション(2歳)
	19日(木)	星稜子育てステーション(0歳)
	20日(金)	星稜子育てステーション(1歳)
	23日(月)	避難訓練(爆発)
	24日(火)	ABCランド(ほし参観)
	26日(木)	茶道体験(年長)
	27日(金)	誕生会参観
	28日(土)	サッカー理事長杯
11	6日(月)	キッズサッカー
	8日(水)	玉川こども図書館出張保育
	14日(火)	避難訓練(火災)
	15日(水)	星稜子育てステーション(2歳)
	16日(木)	星稜子育てステーション(0歳)
	17日(金)	星稜子育てステーション(1歳)
	24日(金)	誕生会参観
	25日(土)	大型遊具完成披露会&さつま汁パーティー
	27日(月)	表現会(年長)
	28日(火)	表現会(年中)
	29日(水)	表現会(年少)
	30日(木)	茶道体験(年長)
12	6日(水)	星稜子育てステーション(2歳)
	7日(木)	星稜子育てステーション(0歳)
	8日(金)	星稜子育てステーション(1歳)
	12日(火)	ABCランド
	13日(水)	玉川こども図書館出張保育
	14日(木)	茶道体験(年長)
	15日(金)	誕生会参観
	18日(月)	避難訓練(地震)
	19日(火)	もちつき
	21日(木)	クリスマス会
	22日(金)	終業式

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

10	3日(火)	いもほり(年長・中)
	4日(水)	小児科健診
	4日(水)・11日(水)・18日(水)・25日(水)	子育て広場1歳
	5日(木)	創立記念日
	6日(金)	リトミック(年少)
	6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金)	子育て広場2歳
	10日(火)	ABCランド(年長・中)
	10日(火)・17日(火)・24日(火)	子育て広場0歳
	11日(水)	テニス(年長)
	16日(月)・23日(月)	茶道(年長)
	17日(火)・24日(火)	レッツスポーツ(年長・中)
	18日(水)	小児科健診
	19日(木)	親子バス遠足(年長・少)
	24日(火)	レッツスポーツ(年長・中)
	26日(木)	避難訓練
	27日(金)	観劇(年長)
	28日(土)	理事長杯(課外教室サッカー)
	30日(月)	誕生会参観
11	1日(水)	テニス(年中)
	2日(木)	歯科検査
	6日(月)	茶道(年長)
	7日(火)	ABCランド(年長・中)
	7日(火)・14日(火)・21日(火)	子育て広場0歳
	8日(水)・15日(水)・22日(水)	子育て広場1歳
	9日(木)	避難訓練
	10日(金)	リトミック(年少)
	10日(金)・17日(金)・24日(金)	子育て広場2歳
	14日(火)	レッツスポーツ(年長・中)
	29日(水)	表現会
	30日(木)	誕生会参観
12	4日(月)	紙漉き体験(つき組)
	5日(火)	レッツスポーツ(年長・中)
	5日(火)・12日(火)・19日(火)	子育て広場0歳
	6日(水)	紙漉き体験(ほし組)
	6日(水)・13日(水)	子育て広場1歳
	8日(金)	もちつき
	11日(月)・21日(木)	茶道(年長)
	12日(火)	レッツスポーツ(年長・中)
	13日(水)	テニス(年長)
	14日(木)	誕生会参観
	15日(金)	リトミック(年少)、子育て広場2歳
	18日(月)	避難訓練
	19日(火)	ABCランド(年長・中)
	20日(水)	ハローサンタの会
	22日(金)	終業式

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地
TEL 076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL 076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/izumino/>